

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 5月 31日

大阪府知事 殿

(大阪府 環境農林水産部 循環型社会推進室 産業廃棄物指導課 殿)

受	付
06.6.14	
産指第	号
大阪府	

提出者
住 所 大阪府大阪狭山市東池尻4丁目1402番地の1
氏 名 株式会社 浅野歯車工作所
代表取締役 藤田 一
電話番号 072-365-0801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

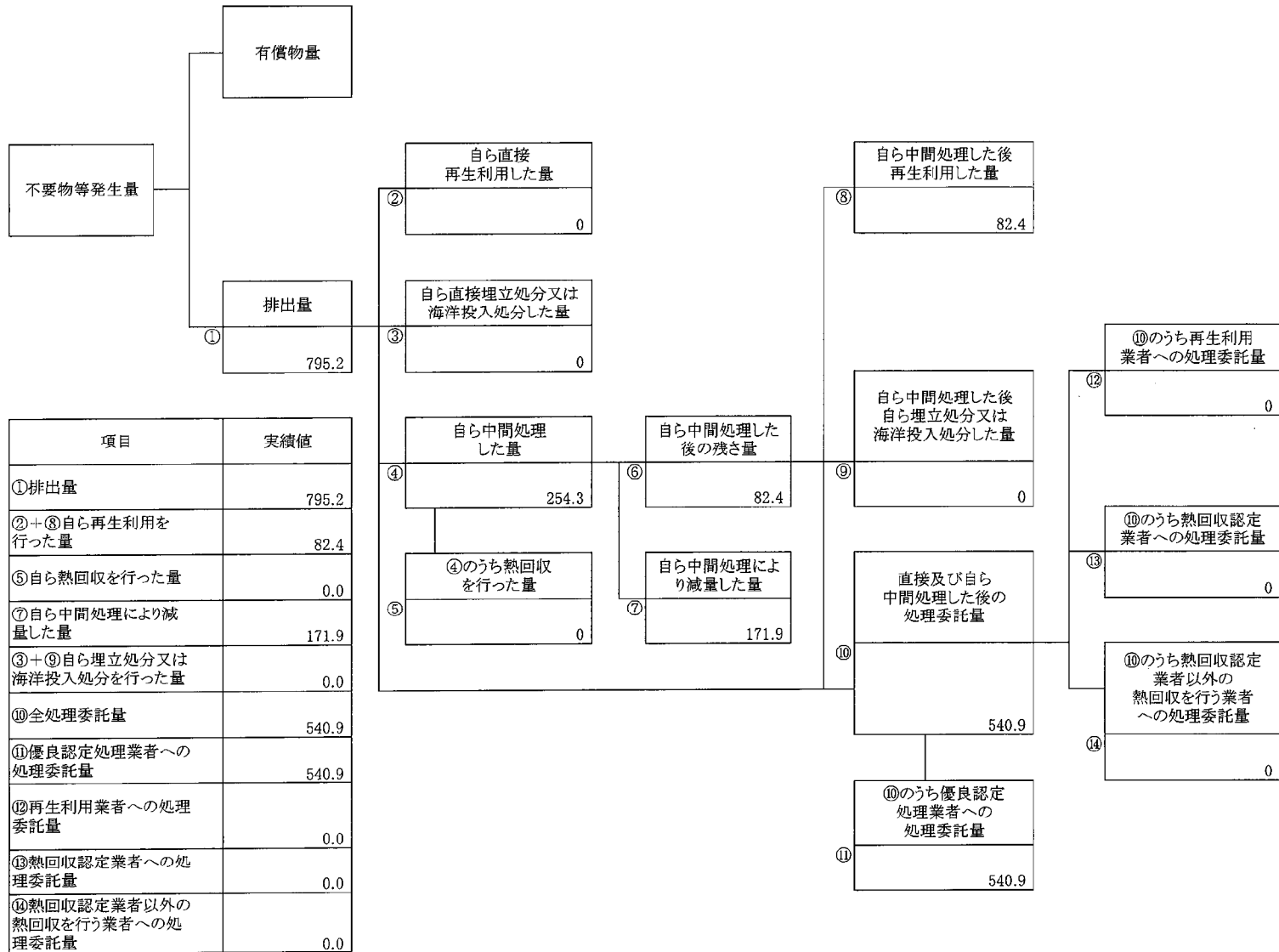
事業場の名称	株式会社 浅野歯車工作所
事業場の所在地	大阪府大阪狭山市東池尻4丁目1402番地の1
事業の種類	31:輸送用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1577t	全処理委託量	618t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	236t	優良認定処理業者への処理委託量	616t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	723t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

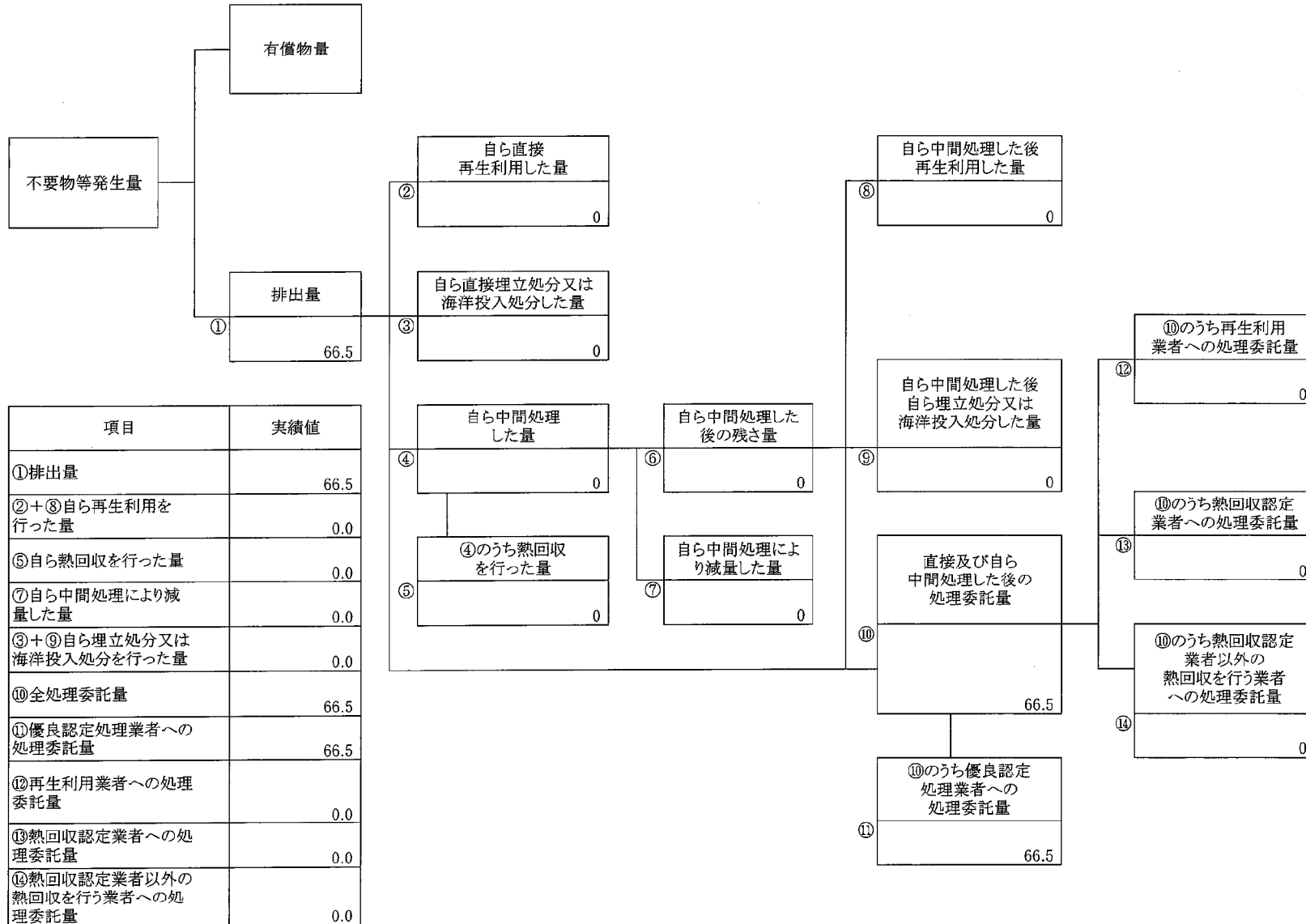
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①廃油A1)



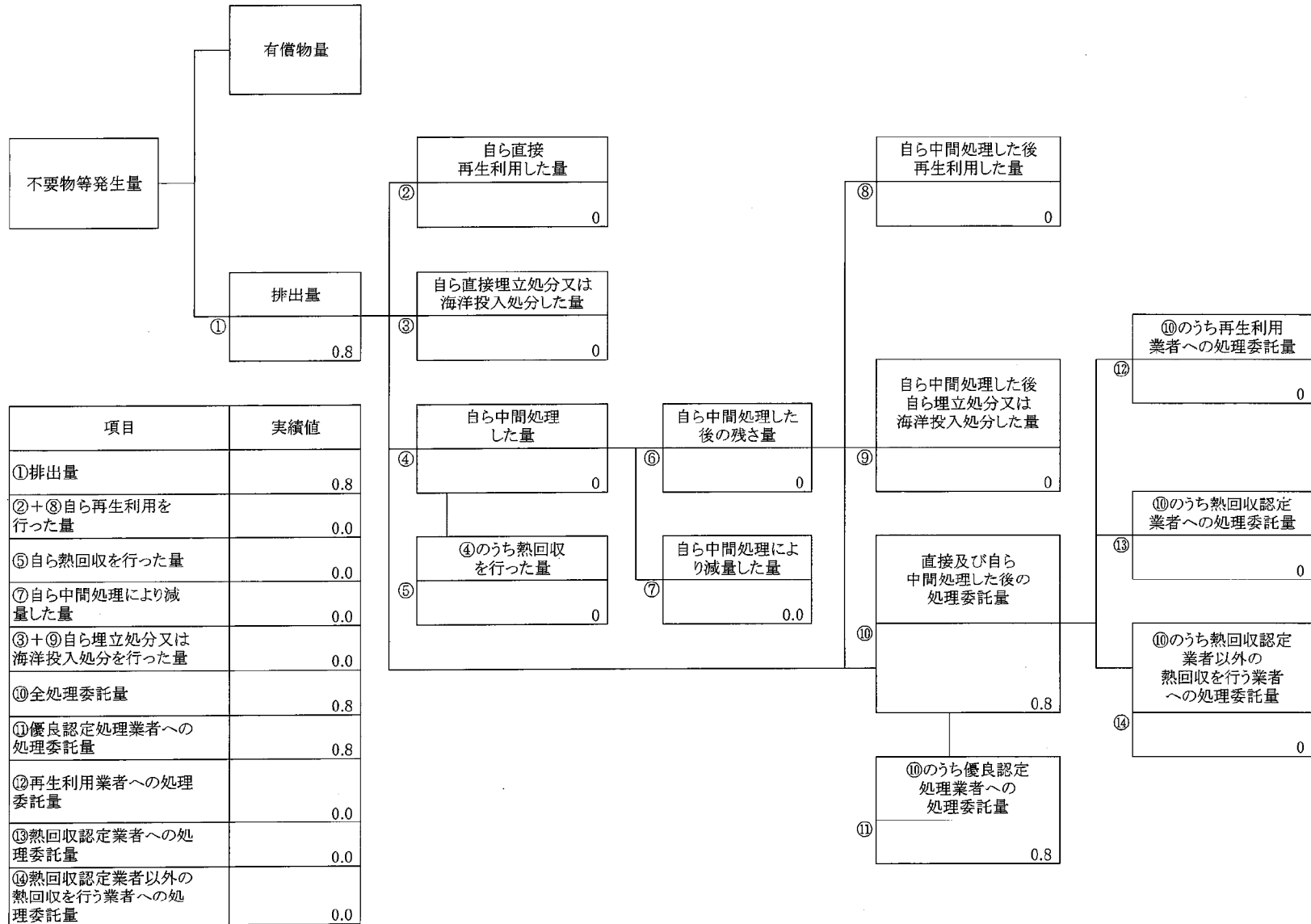
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②廃油(スラッジ含む)A2)



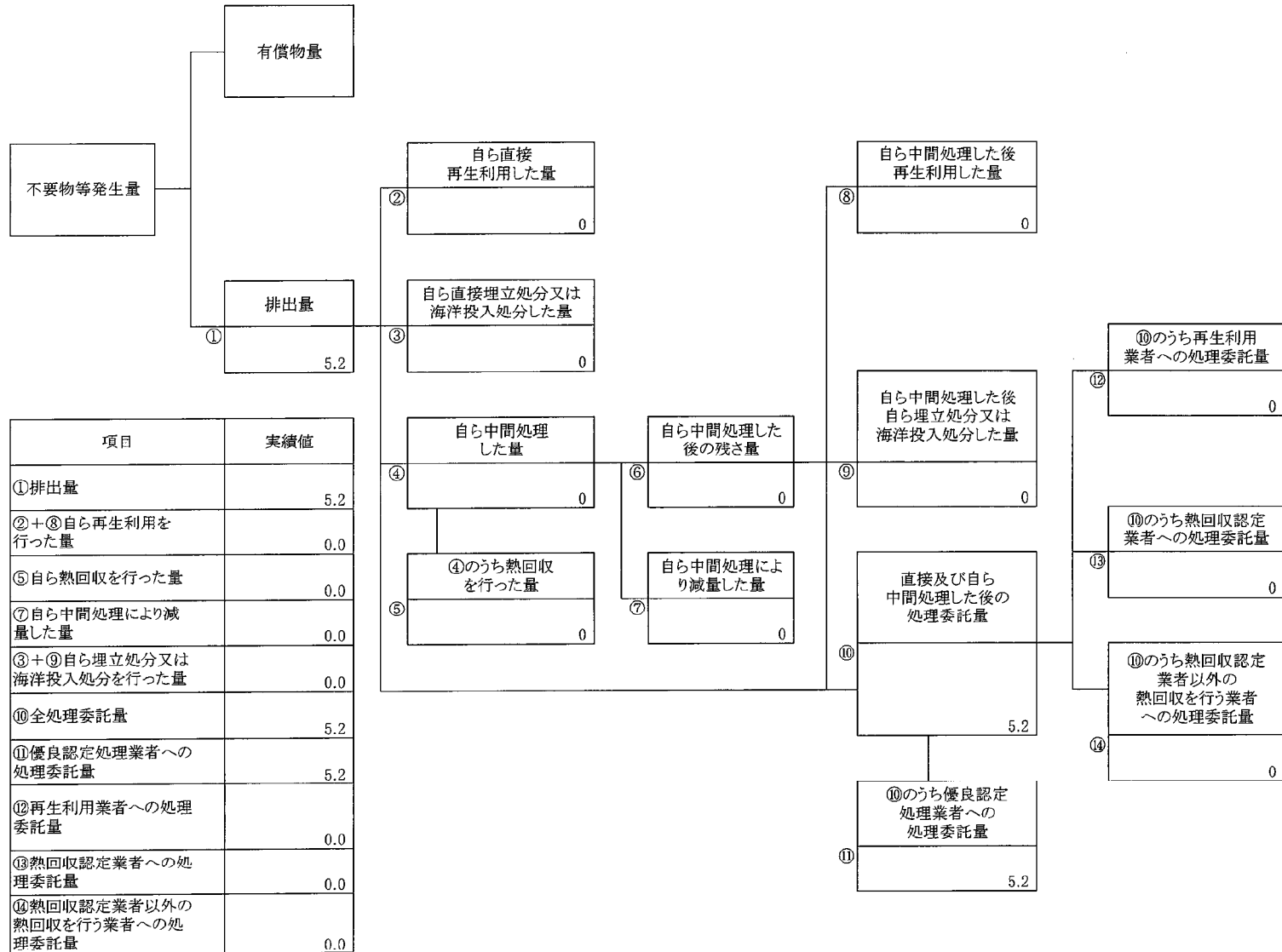
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③混合(管理型含む廃塗料・廃プラ)B1)



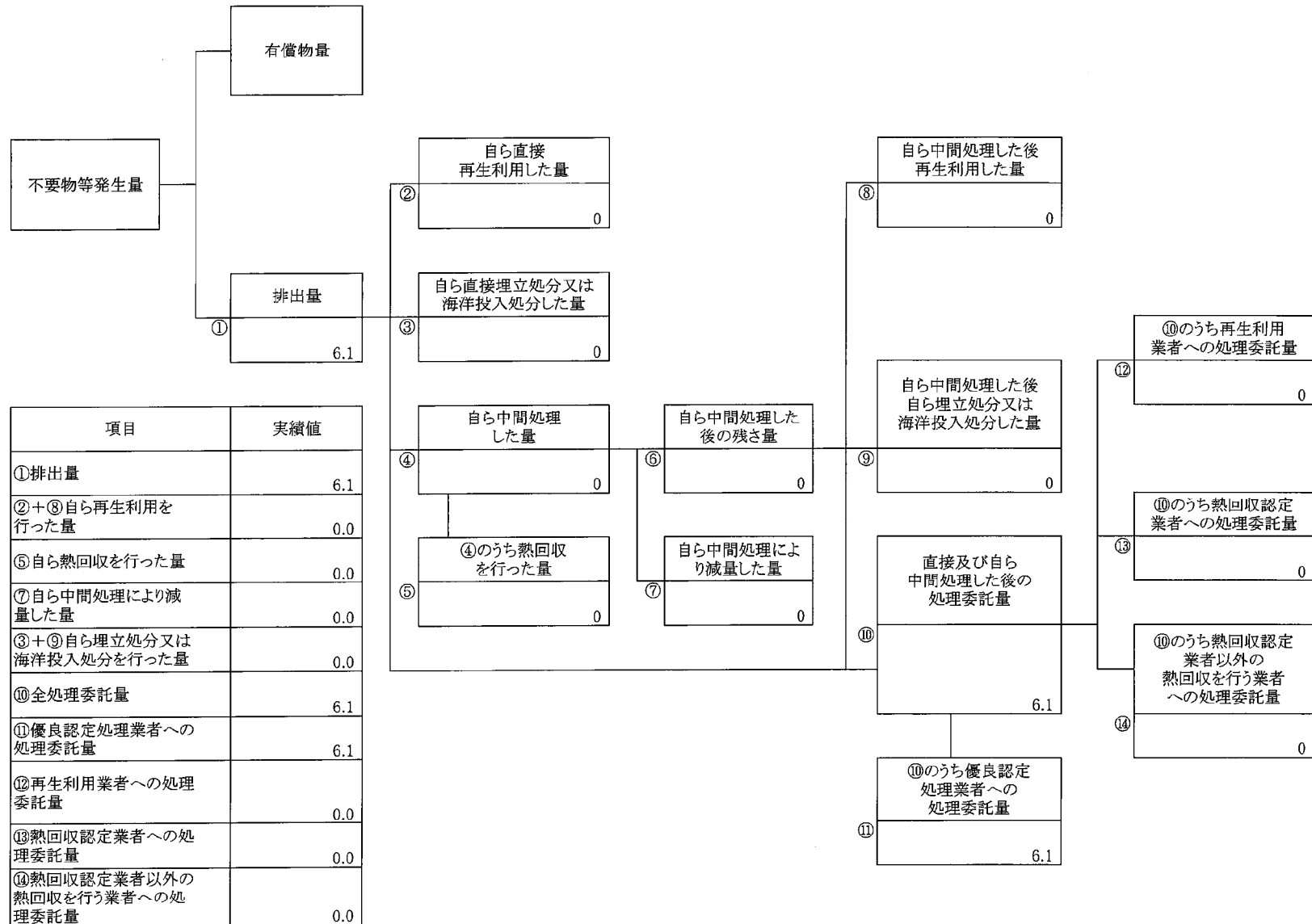
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④汚泥(ドラム缶スラッジ) B2)



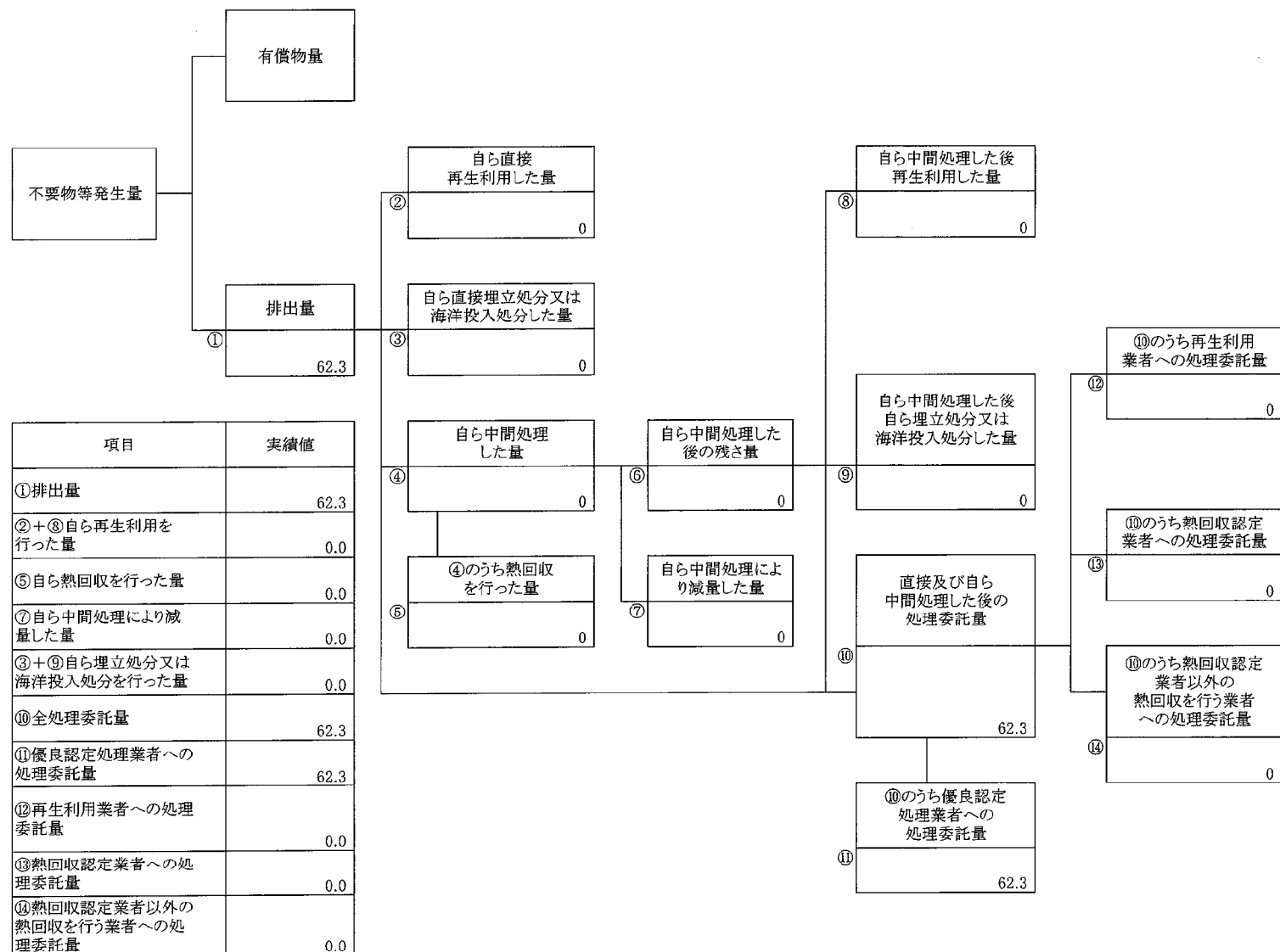
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤陶磁器くず(廃砥石・RCF)F)



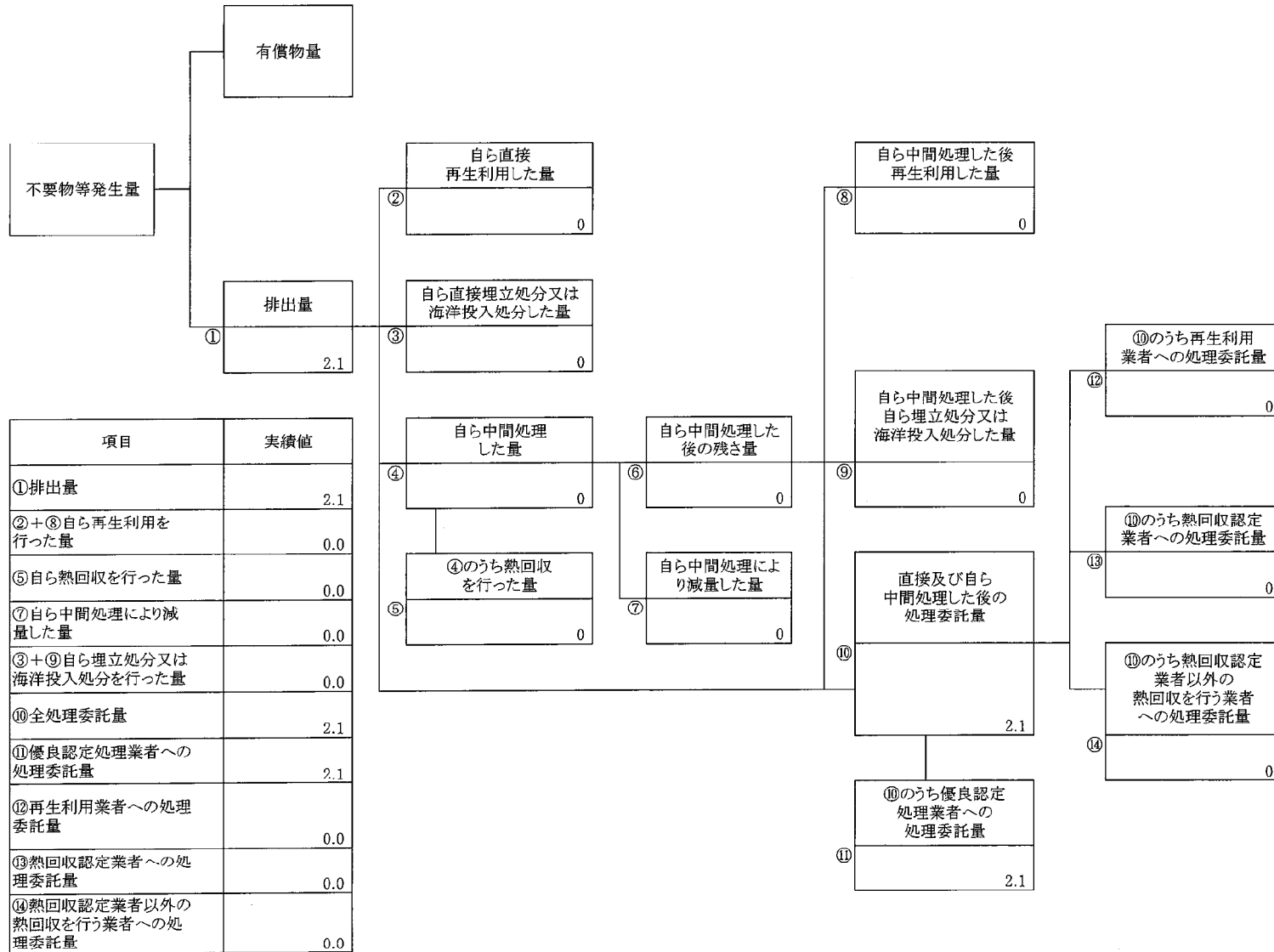
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥汚泥(研磨カス)G



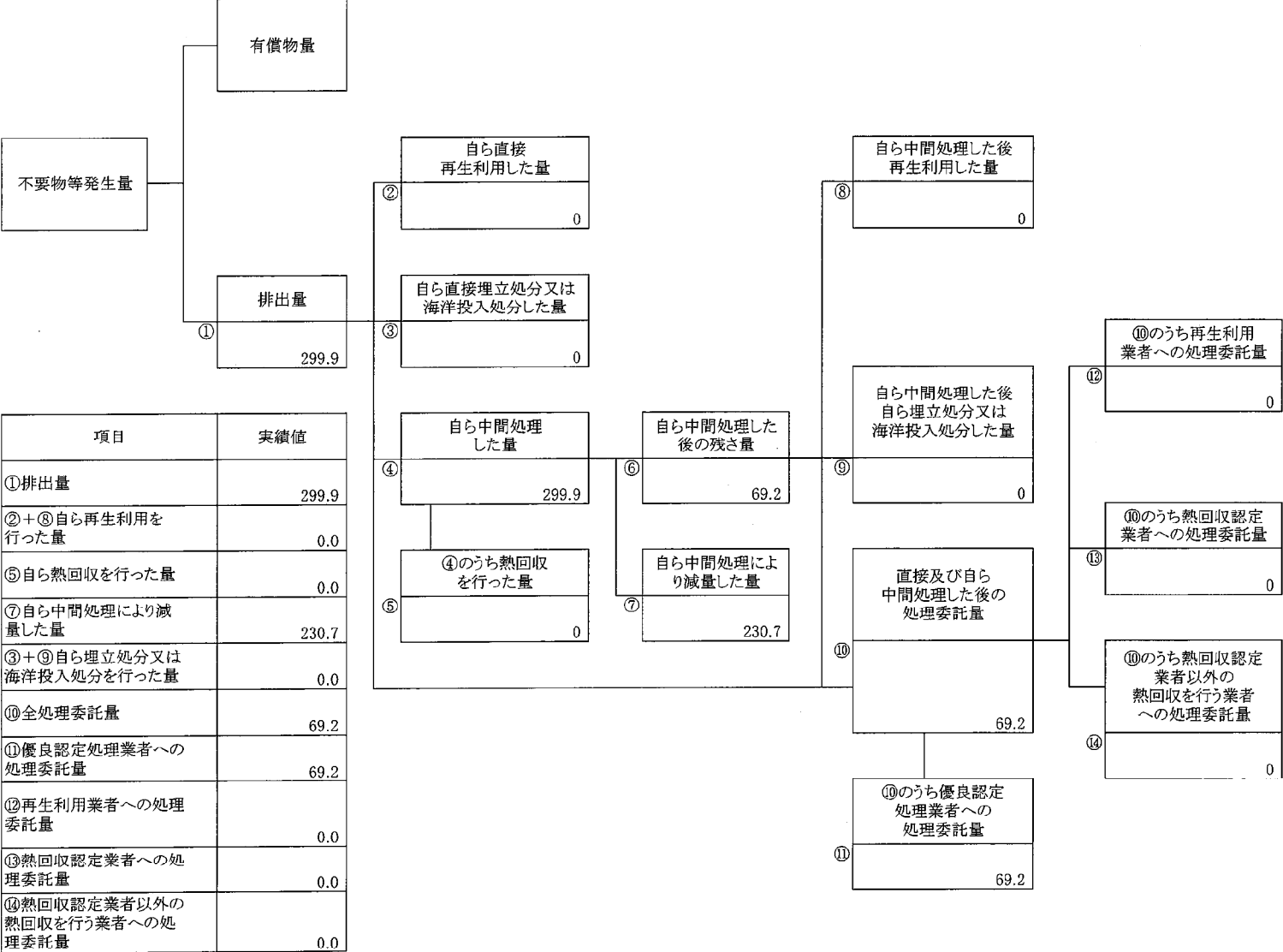
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦汚泥(リユアライト)H)



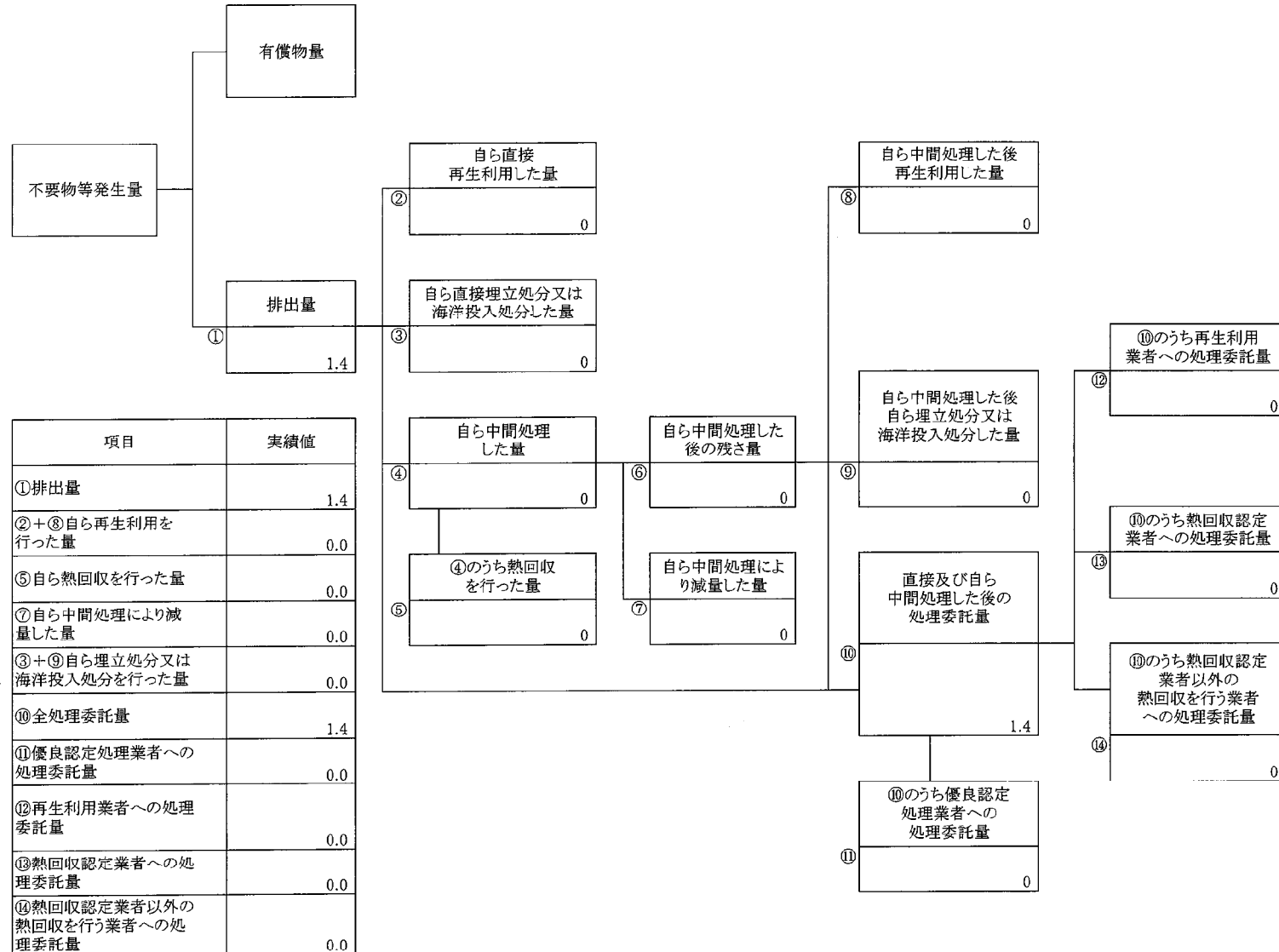
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑧汚泥(水処理)J1)



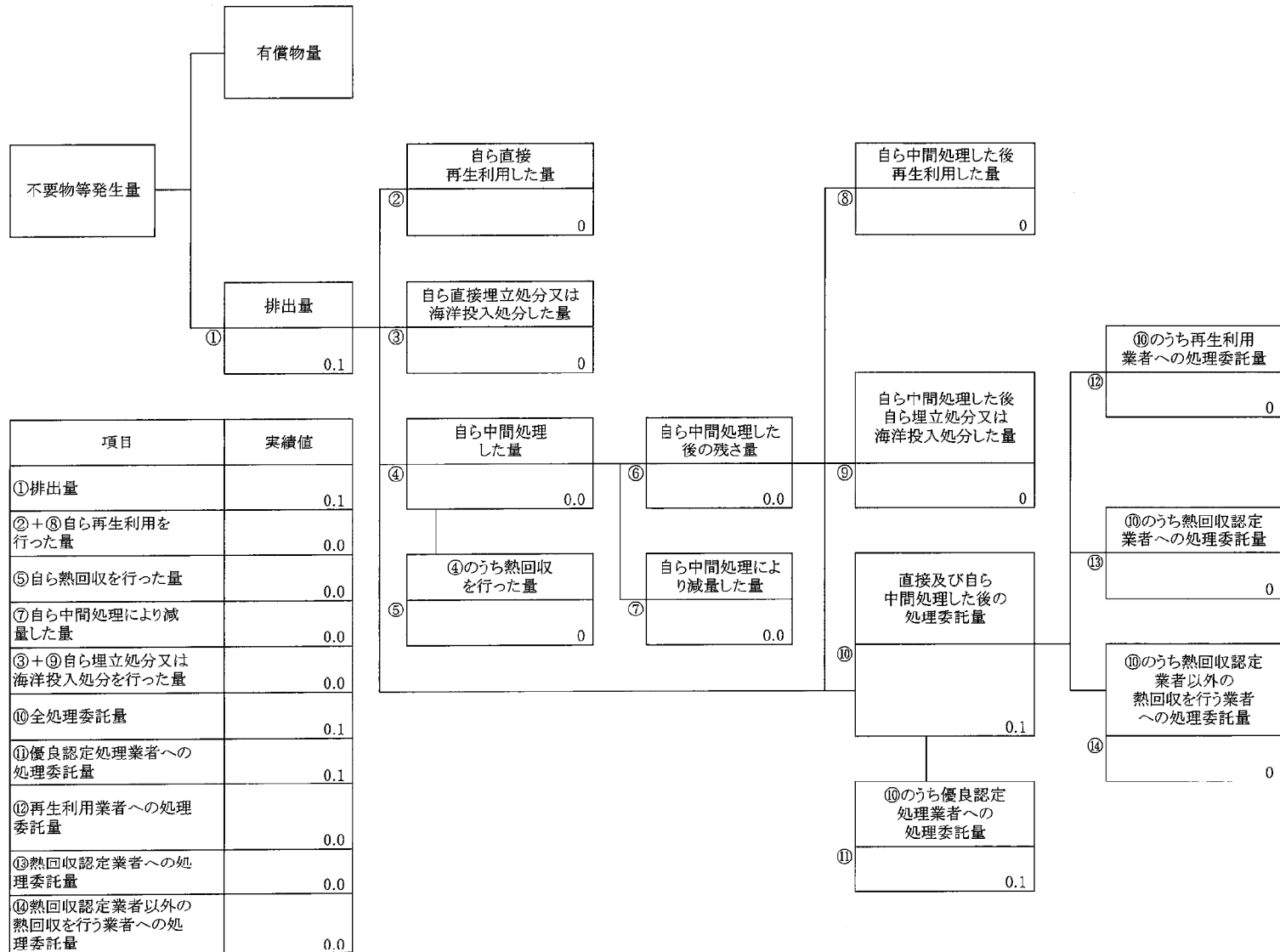
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑨汚泥(油水分離槽)C)



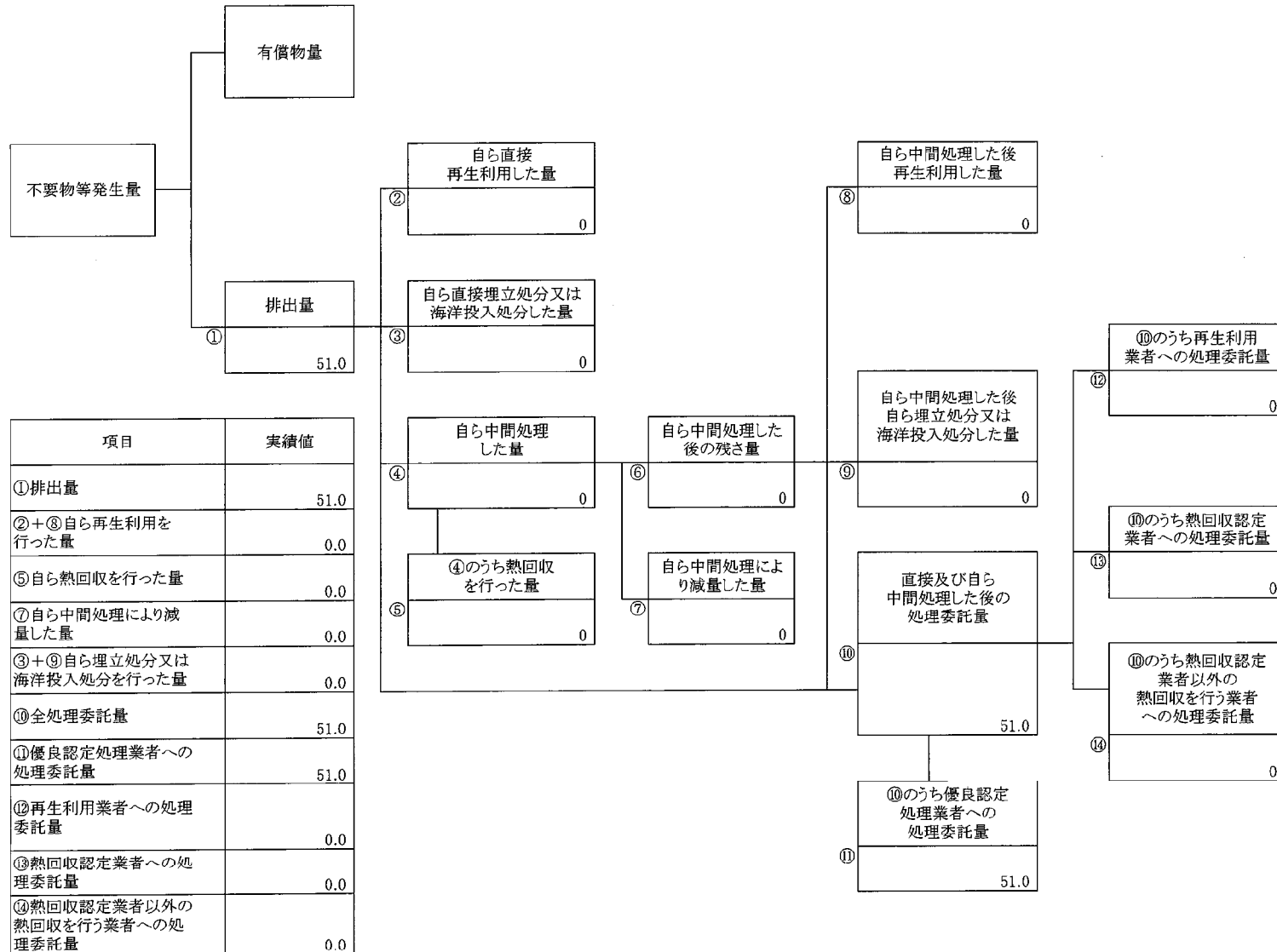
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩汚泥(乾電池)L)



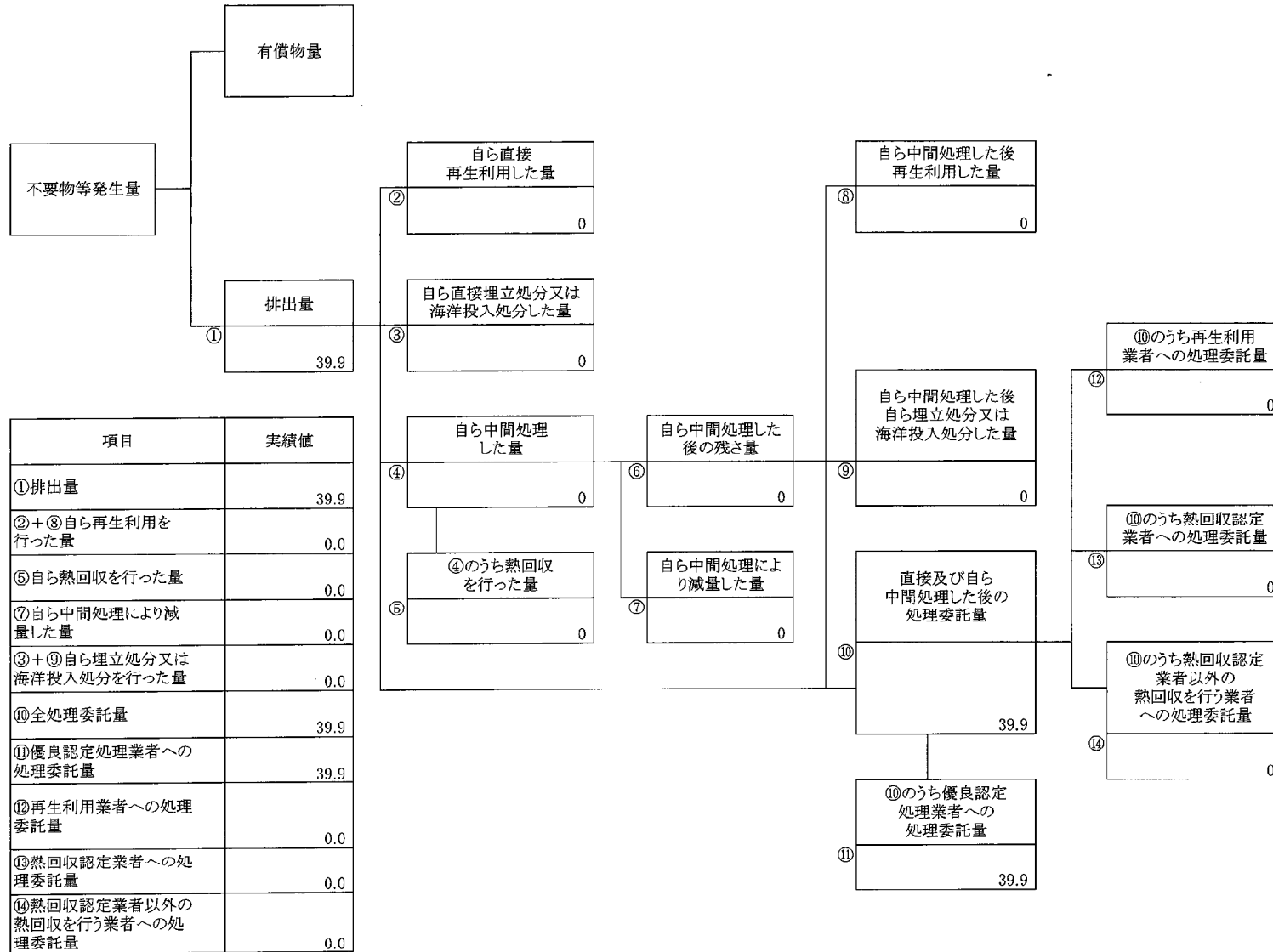
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑪廃プラスチック①M1)



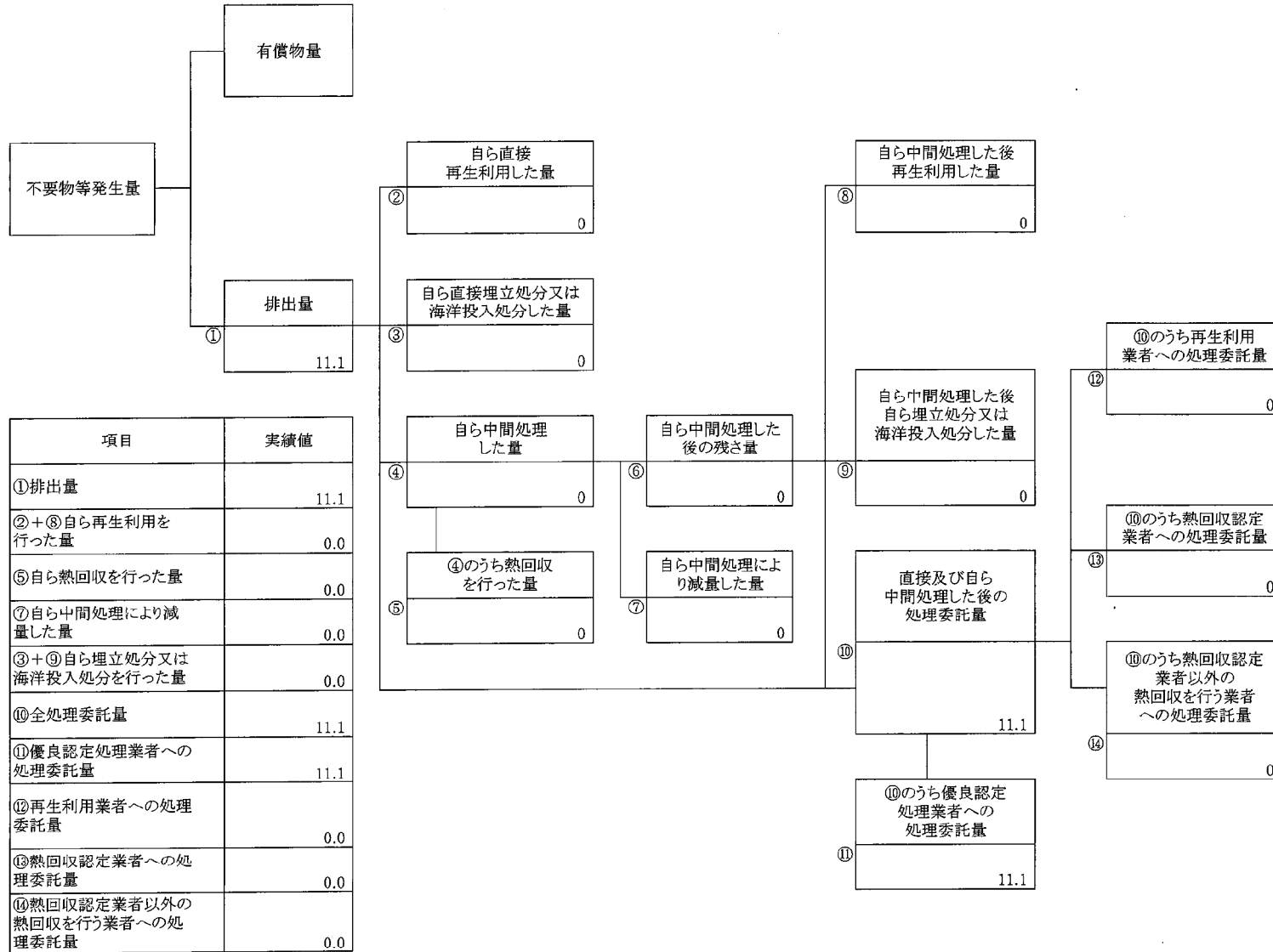
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑫廃プラスチック②M2)



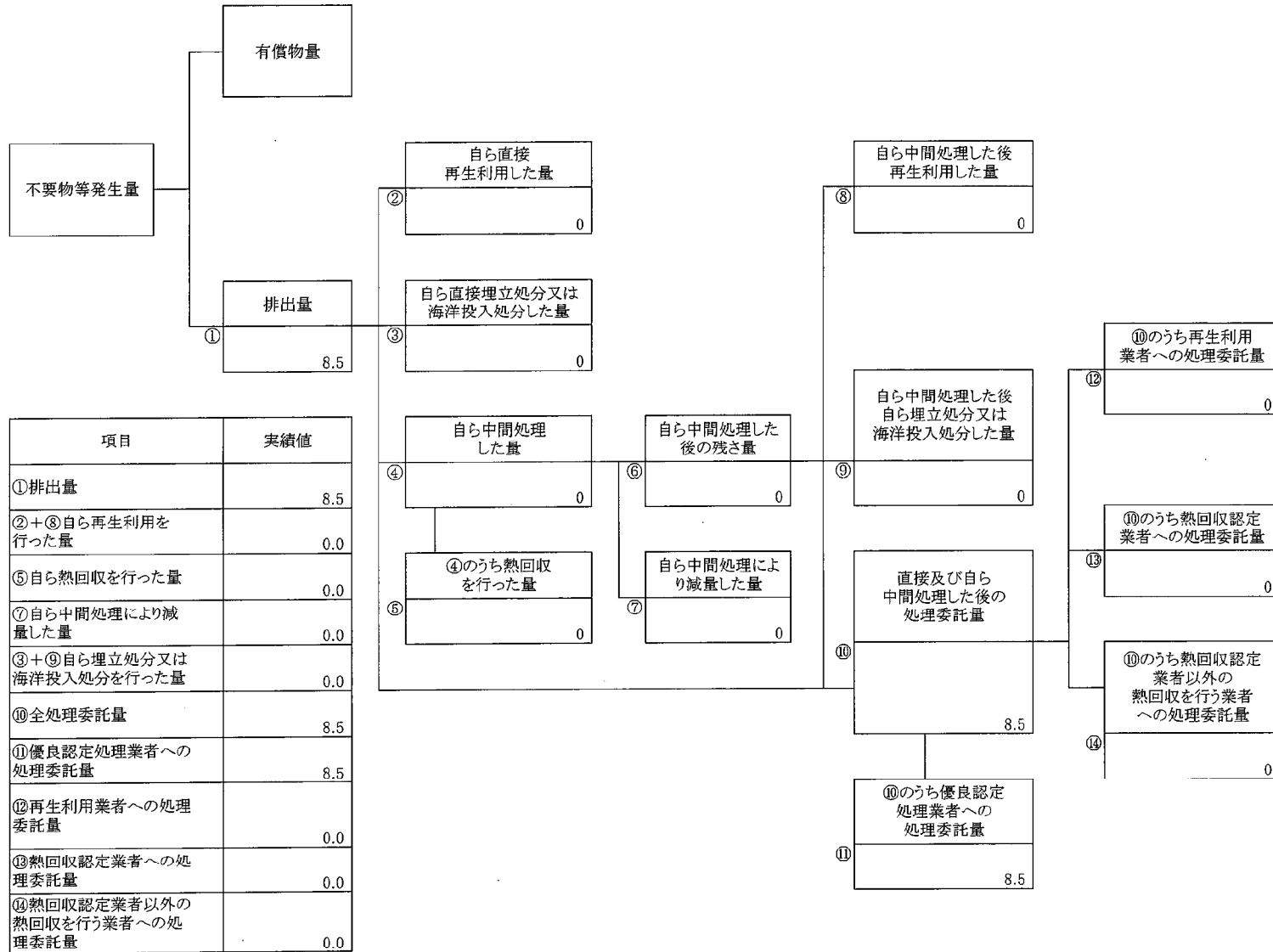
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑬廃油(廃カス)N)



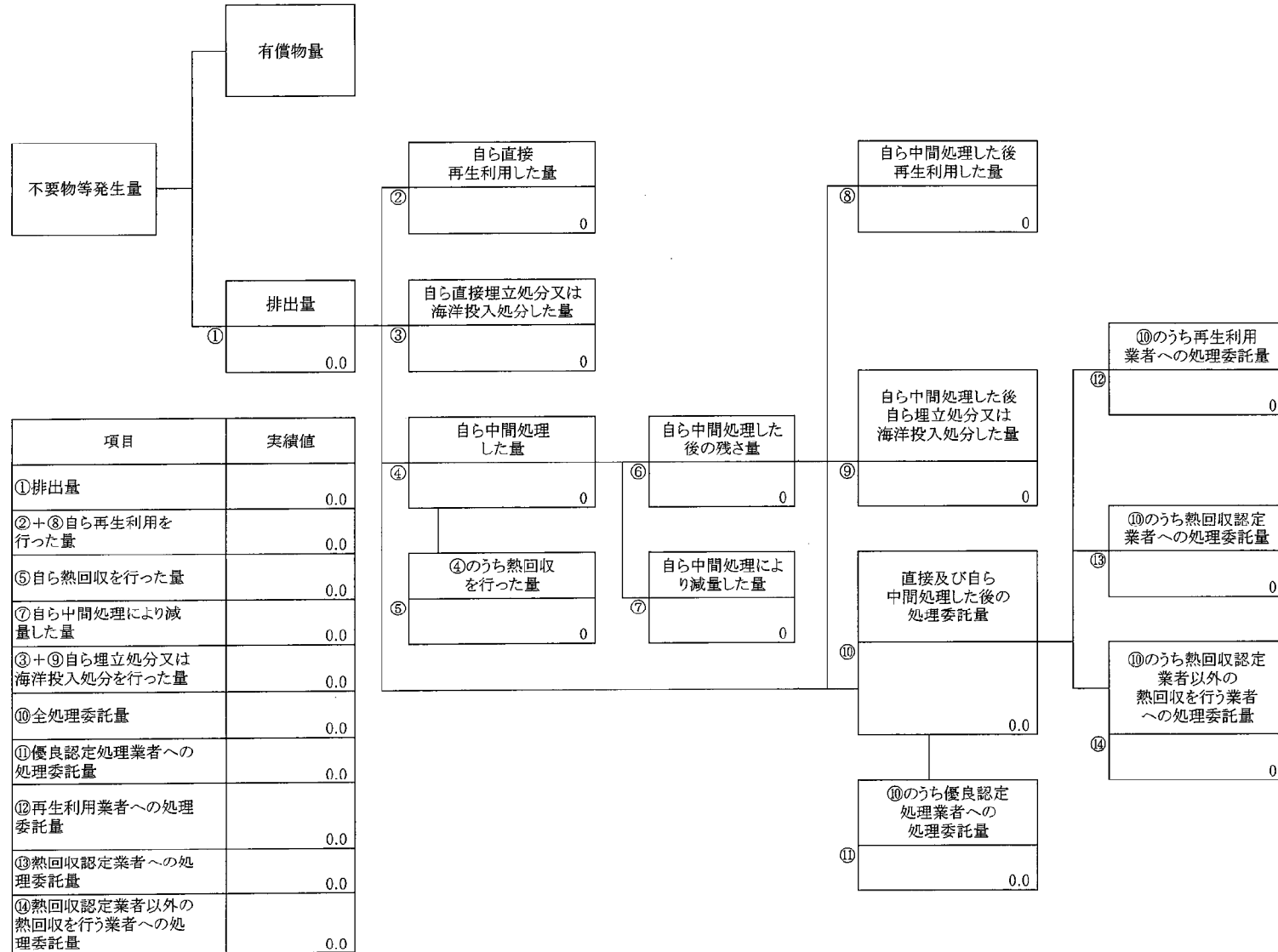
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑭木くずP)



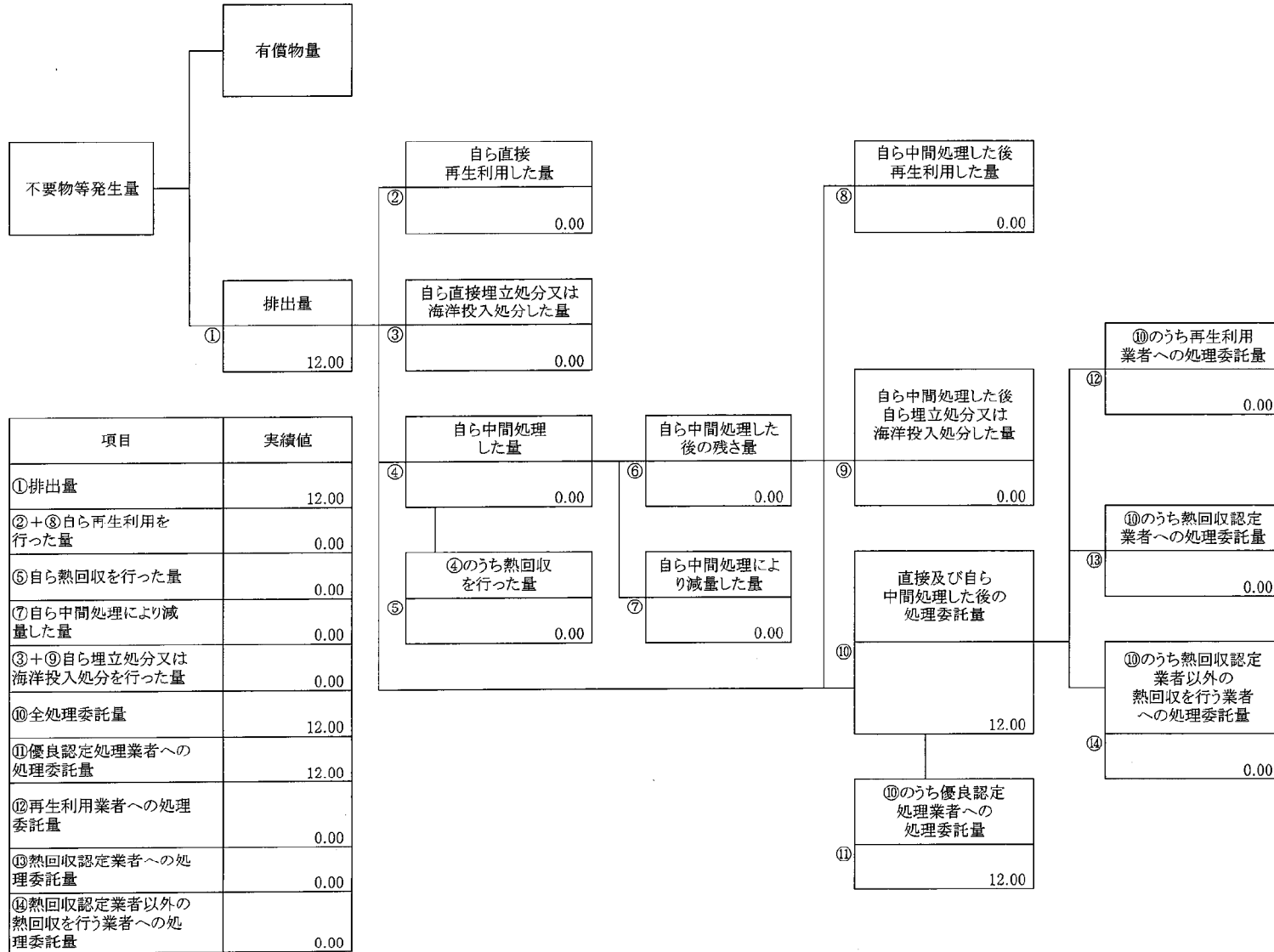
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑮陶磁器くず(砥石)Q2)



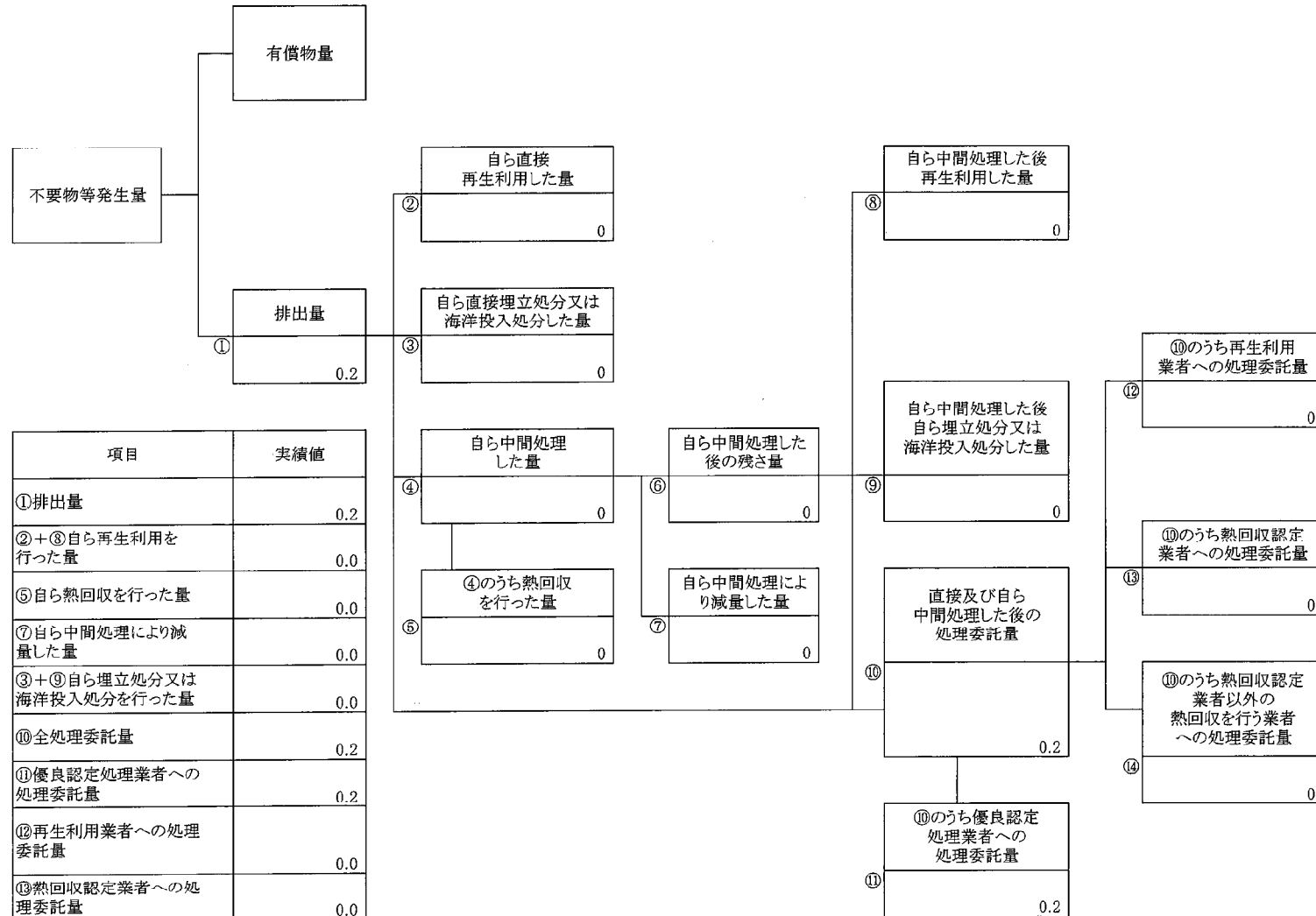
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑮廃アルカリS)



計画の実施状況

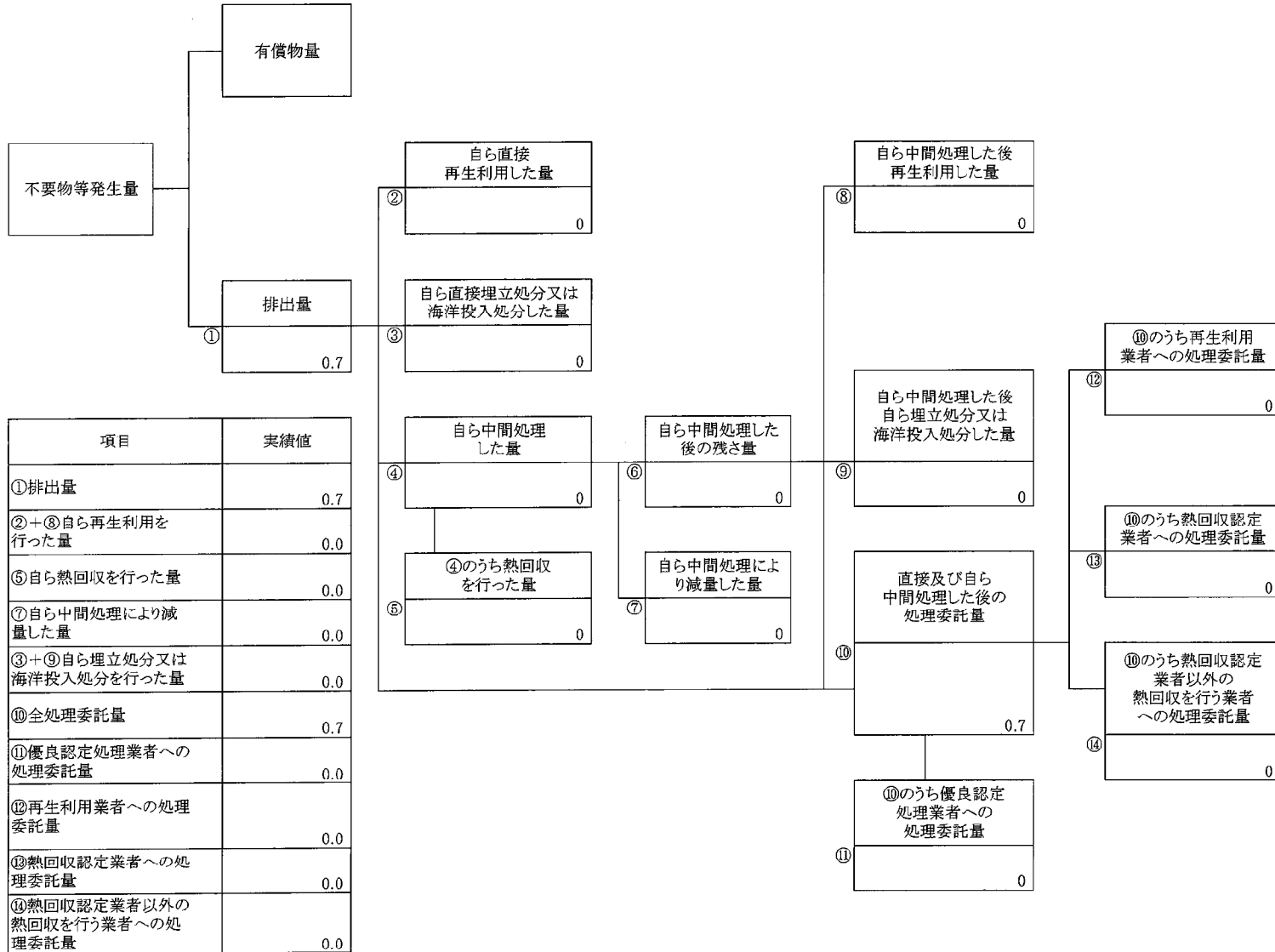
(産業廃棄物の種類: ⑰廃蛍光灯T)



項目	実績値
①排出量	0.2
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

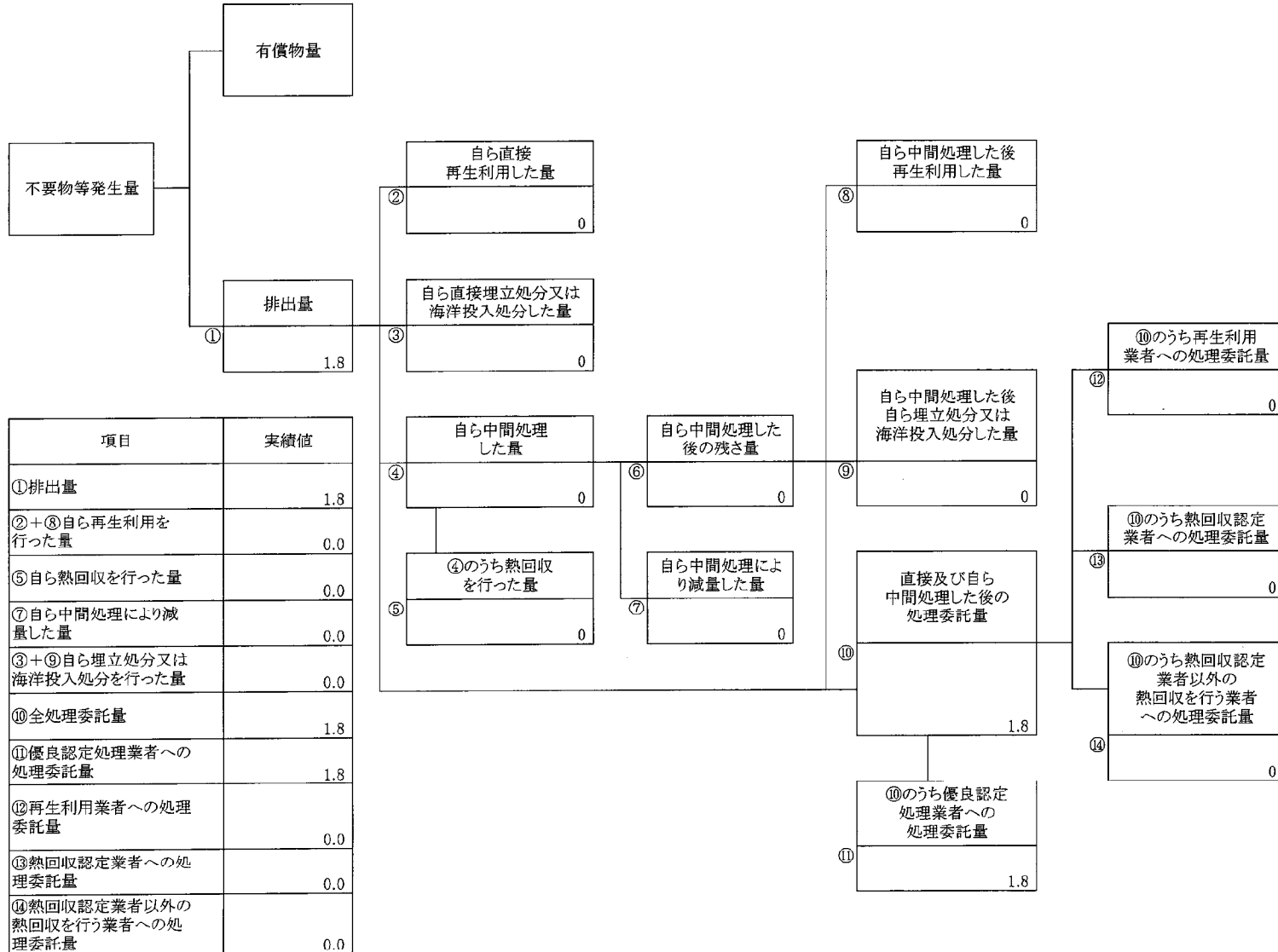
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑬廃バッテリーU1)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑬汚泥V)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。